

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成28年2月12日 (2016.2.12)

【公開番号】特開2015-26277(P2015-26277A)
【公開日】平成27年2月5日 (2015.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-008
【出願番号】特願2013-155789(P2013-155789)
【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

G 0 6 Q 50/22 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/10

G 0 6 Q 50/22 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月21日 (2015.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力者によって入力された、少なくとも対象者のアクティビティを示すアクティビティ情報を取得する機能と、

前記アクティビティ情報に基づいて、前記対象者のアクティビティをサポートするサポート情報を生成する機能と、

前記サポート情報または前記アクティビティ情報に基づいて、前記入力者、または前記対象者とも前記入力者とも異なる観察者への前記サポート情報の出力を制御する機能とを実現するプロセッサを備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記サポート情報または前記アクティビティ情報の内容に応じて前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力する、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記サポート情報が前記対象者のアクティビティへのアドバイスを含む場合に、前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力する、請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記サポート情報を生成する機能は、前記対象者のアクティビティに関するナレッジ情報にさらに基づいて、前記対象者のアクティビティへのアドバイスを含む前記サポート情報を生成する、請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記サポート情報または前記アクティビティ情報が前記対象者のアクティビティが統計的にみて通常とは異なることを示す場合に、前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力する、請求項 2 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記観察者は、複数のユーザを含み、

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記サポート情報または前記アクティビティ情報の内容に応じて、前記複数のユーザのうちの誰に前記サポート情報を自動出力するかを判定する、請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記アクティビティ情報に基づいて前記入力者または前記観察者が手空きであると推定される場合に、前記サポート情報を前記手空きである入力者または観察者に自動出力する、請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記アクティビティ情報を取得する機能は、前記入力者または前記観察者のアクティビティをさらに示す前記アクティビティ情報を取得し、

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記入力者または前記観察者のアクティビティを示す前記アクティビティ情報に基づいて前記入力者または前記観察者が手空きであるか否かを推定する、請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記入力者または前記観察者のアクティビティを示す前記アクティビティ情報は、センサによって自動的に取得された情報を含む、請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記サポート情報を生成する機能は、前記アクティビティ情報が取得されたときにリアルタイムで前記サポート情報を生成し、

前記サポート情報の出力を制御する機能は、前記サポート情報が生成されたときにリアルタイムで前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力するか否かを判定する、請求項 2 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、リアルタイムで前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力しなかった場合、該サポート情報を後で前記入力者または前記観察者に自動出力するために蓄積する、請求項 10 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、リアルタイムで前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力しなかった場合、該サポート情報を前記入力者または前記観察者による参照操作に応じて提供するために蓄積する、請求項 10 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記サポート情報の出力を制御する機能は、リアルタイムで前記入力者または前記観察者に前記サポート情報を自動出力しなかった場合、該サポート情報を破棄する、請求項 10 に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

前記アクティビティ情報は、前記対象者のアクティビティに用いられる用具に配置された N F C タグと前記入力者が把持または装着する端末装置が備える N F C リーダとの通信によって生成される、請求項 1 ～ 13 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 15】

前記アクティビティ情報は、前記対象者のアクティビティに用いられる用具に配置された二次元コードを前記入力者が把持または装着する端末装置が備えるリーダが読み取ることによって生成される、請求項 1 ～ 14 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 16】

コンピュータのプロセッサが、

入力者によって入力された、少なくとも対象者のアクティビティを示すアクティビティ情報を取得することと、

前記アクティビティ情報に基づいて、前記対象者のアクティビティをサポートするサポート情報を生成することと、

前記サポート情報または前記アクティビティ情報に基づいて、前記入力者、または前記

対象者とも前記入力者とも異なる観察者への前記サポート情報の出力を制御することとを含む情報処理方法。

【請求項 17】

入力者によって入力された、少なくとも対象者のアクティビティを示すアクティビティ情報を取得する機能と、

前記アクティビティ情報に基づいて、前記対象者のアクティビティをサポートするサポート情報を生成する機能と、

前記サポート情報または前記アクティビティ情報に基づいて、前記入力者、または前記対象者とも前記入力者とも異なる観察者への前記サポート情報の出力を制御する機能とをコンピュータのプロセッサに実現させるためのプログラム。

【請求項 18】

入力者の入力動作に応じて、対象者のアクティビティを示すアクティビティ情報を生成する機能と、

前記アクティビティ情報に基づいて、前記対象者のアクティビティをサポートするサポート情報を生成する機能と、

前記サポート情報または前記アクティビティ情報に基づいて、前記入力者、または前記対象者とも前記入力者とも異なる観察者への前記サポート情報の出力を制御する機能と

前記サポート情報を前記入力者または前記観察者に出力する機能とを実現する 1 または複数の情報処理装置を含む情報処理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0076】

上記で説明したような対象者のアクティビティへのアドバイスを含むサポート情報 1110 は、例えば、元になるアクティビティ情報（遅れた時間に入力された（所定の回数）沐浴のアクティビティ情報）が取得されたときにリアルタイムで出力端末 300 に自動出力されると有効でありうる。それゆえ、サーバ 20 のサポート情報出力制御機能 255 は、サポート情報生成機能 253 がリアルタイムでサポート情報 1110 を生成した場合には、これをリアルタイムで出力端末 300 から自動出力させることを決定してもよい。後述する他の条件（例えば、観察者や入力者の状況）によって自動出力しないことが決定された場合も、サポート情報出力制御機能 255 は、サポート情報 1110 を出力端末 300 からの参照操作に応じて提供するために蓄積するか、または別の要因で決定される出力端末 300 への自動出力のタイミングまで蓄積しうる。